

ラッピングにも「らしさ」

市営バスが新しく、出発進行



関係者が出席した新ラッピングバスの
出発式

＝長井市・フラワー長井線長井駅前

長井

長井市営バス
の新ラッピング

車両の出発式が17日、フラワー長井線長井駅前ロータリーで行われ、関係者が新たなバスの「門出」を祝った。

2012年度から使用してきた致芳バスの走行距離が、車両更新目安の50万キロに近づいていたことから、バスにより親しみを持ってもらおうとラッピングを一新して更新した。元市地域おこし協力隊の工藤裕太さん(35)がデザインし、しぶきを上げて流れる水と黒獅子の幕をあしらひ、市の特徴をイメージ

した。

式典には、内谷重治市長ら関係者10人が出席。内谷市長が「これからも安全でより良い運行を目指していく」とあいさつした後、出席者が出発する車両を見送った。

工藤さんは「バスを利用する人はもちろん、利用しない人にも気に入っていただけるデザインになれば」と話した。事業費は約500万円。今後更新するバスは同様のデザインのラッピングとする方針だが、地区ごとの色分けは変更しない。

(小池拓海)